



「みんな同じ潜水艦の乗組員。誰一人欠けても、『昭和号』は沈没します」と語る社長を囲んで、社員の皆さん



『昭和号』！

チタンで戦う潜水艦
社員を愛し、環境を愛する中小企業の社長が、社員一丸となって、大企業が待つ大海原へ打って出る！

「チタンの昭和」と聞きますが、そもそもチタンってなんですか？

チタンは、軽くて丈夫な金属です。鉄の3分の2の軽さ、鋼と同じ強さで、錆びず、酸やアルカリにも強いんです。多くが航空機に使われています。チタン製品は半永久的に壊れないのでリピーターが獲得できないのが悩みですが、常に新しい分野に挑み、新製品を開発してきました。アルカリイオン水生成器の電極は、全てうちの製品です。チタン製めがねフレームやゴルフのチタンヘッドもうちが初めてつくったんですよ。光触媒※機能を持つチタン材も開発しました。

※光触媒
光を利用して化学反応を起こさせ、水中や空気中の汚染物質を酸化分解すること。



チタンの釣り用具を手際よく溶接する

県工業技術センターと共同開発をされたと聞きましたか？

それがこの光触媒機能を持つチタン材なんです。奈良県、京都大学との共同開発で、分解力が高く、長続きするチタン材を開発しました。チタンの酸化能力で、汚染物質を分解できないかということから、研究を始めました。中小企業は、国や県など、もっと行政の制度を利用したらいいと思います。行政の制度は利用しやすく、丁寧に教えてくれるので、中小企業の社長さんにいつも勧めています。



光触媒の説明見本と岩井本と岩井井研究員「仕事は興味で尽きず、おもしろい」

他にも地球環境を保護する製品を作られていますね。

チタンは究極の環境材料です。光触媒以外にも、「チタンによる海洋生物附着防止技術」も開発しました。「原子力品質保証審査」の認定も受けて、核廃棄物を500年間保存できる容器も開発しました。

社員を大切にされていますね。

従業員50人のうち、47人が正社員です。3人は定年を迎えた社員の再雇用だから、もとは正社員。大企業なみの福利厚生で、不況でも1人も解雇せず、従業員が自分の将来を見据えて働ける環境を整えてきました。採用したいのは「バランス感覚のある人」「物事をおもしろがる、みずみずしい精神を持つ人」です。



昭和に入社するため、関東から奈良へ来られた土谷真由美さん「一生この会社で働きたい」

株式会社 昭和

所 生駒市北田原町2443-6
☎ 0743-72-0743
FAX 0743-72-0744
WWW www.showa-titan.com/

「環境分野を創設したい」と語る代表取締役社長の高安 輝樹さん。



昭和42年設立。平成11年研究所開設。平成18年経済産業省より第1回「元気なモノ作り中小企業300社」に選定される。国内外で取得した特許は23件。今も12件を出願中。「仕事とは伝達すること」と語る高安社長は、新聞やテレビの取材、講演にもひっぱりだこ。会社の躍進の源は、社長の信念と、信頼に応える社員だと確信しました。